

事務事業名称	障害者医療費助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		10.障害者が自立し、社会参加ができるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	仮力中里及障害者の医療費の助成に関する条例、仮力中里及障害者の医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称	大阪府市町村重度障がい者医療費助成事業費補助金交付要綱		サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	重度の障害がある市民(所得制限あり)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	医療機関を受診する必要があるにもかかわらず、経済的な負担を考え受診に消極的になる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し必要な治療を受けることができる。				
事業概要	対象者に医療証を交付する。医療証を医療機関に提示することで、窓口負担が軽減される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し必要な治療を受けることができる。				アウトプット (活動結果)	医療証を交付する。(障害者医療)				インプット (活動)	医療証交付申請を受理する。(障害者医療)			
	指標説明	1人あたりの受診件数(年平均)				対象者数				交付申請受理件数					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	27	27	27	27	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900		
	達成度	93%				101%				101%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.15
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,950	17,993	10,937		
	会計年度任用職員	730	718	290		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	16,680	18,711	11,227		
	物件費計	965,294	980,713	978,765	1,046,198	93.6%
	歳出計	981,974	999,424	989,992		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	414,576	409,688	412,407	523,310	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	169,511	169,706	177,738	135,608	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	584,087	579,394	590,145	658,918	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	381,207	401,319	388,620	387,280	

5. 総括的分析

総括的分析	前年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響は少なく、想定どおりの件数等となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現行制度を維持し、重度障害者に対する医療費負担の軽減を図る。

事務事業名称	子ども医療費助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1983(S58)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市子ども医療費の助成に関する条例、枚方市子ども医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称	大阪府中等特別医療費助成事業負担助成金 付要綱			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童(以下、18歳までの児童)を養育する保護者			
	サブターゲット	18歳までの児童			
	ターゲットが抱える課題	医療機関の受診機会が多い年代であり、度々医療費が必要であるため、経済的負担が増える。			
	ターゲットが抱える課題	医療機関を受診する必要があるがあっても、経済的負担を考慮して受診に消極的になる。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	医療機関の受診機会が多い年代であるが、経済的負担による不安がなく、必要な時に必要な医療を受け、早期治癒を図ることができる。				
事業概要	対象者に医療証を交付する。医療証を医療機関等に提示することで、自己負担が軽減される。令和5年8月から、対象者を、現在の中学校3年生(15歳に達する日以降の最初の3月31日まで)までから、18歳までの児童に拡大する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し、早期治癒を図ることができる。				アウトプット (活動結果)	医療証を交付する。(子ども医療)				インプット (活動)	医療証交付申請を受理する。(子ども医療)			
	指標説明	1人あたりの受診件数(年平均)				対象者数				交付申請受理件数					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	13	13	13	10	50,300	50,300	50,300	61,800	2,800	2,800	2,800	14,300		
	実績	10	12	13		49,082	48,406	47,697		3,382	3,723	3,724			
達成度	100%				95%				133%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.70
再任用	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.99
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	17,146	16,500	10,000		
	会計年度任用職員	2,467	3,046	2,645		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	19,613	19,546	12,645		
物件費計	1,068,393	1,260,882	1,327,652	1,426,812	93.1%	
歳出計	1,088,006	1,280,428	1,340,297			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	155,828	176,907	174,436	216,100	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	6,801	6,402	5,854	6,013	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	162,629	183,309	180,290	222,113	
一般財源（物件費に充当されるもの）	905,764	1,077,573	1,147,362	1,204,699		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなったとみられ、受診回数は例年同様に戻っている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	令和5年度8月診療分より、対象年齢を18歳まで引き上げる。本市独自の多子世帯医療費助成を含め、子どもに対する医療費へ助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

事務事業名称	ひとり親家庭医療費助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度	年度	～	年度まで	
根拠法令等	枚方市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例、枚方市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称	大阪府市町村ひとり親家庭医療費助成事業費補助金交付要綱	サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高校3年生までの児童を養育するひとり親家庭の親・養育者(所得制限あり)			
	サブターゲット	ひとり親家庭の高校3年生までの児童			
	ターゲットが抱える課題	何らかの疾病に罹患しても、経済的負担を考え、医療機関の受診に消極的になる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	何らかの疾病に罹患した場合、経済的負担が軽減されており、適切な時期に医療機関を受診し治療することができる。				
事業概要	ひとり親家庭で児童扶養手当の所得制限を満たすものに医療証を発行する。医療証を医療機関等に提示することで、自己負担が軽減される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)										
	経済的負担が軽減され、適切な時期に医療機関を受診し治療することができる。	医療証を交付する。(ひとり親家庭医療)	医療証交付申請を受理する。(ひとり親家庭医療)										
指標設定	指標説明	1人あたりの受診件数(年平均)	対象者数	交付申請受理件数									
	指標種類	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標									
	目標(見込み)	12	12	12	12	8,100	8,100	8,100	8,100	4,000	4,000	4,000	4,000
	実績	11	12	13		7,423	7,213	6,848		3,031	2,861	2,713	
達成度	92%				115%				132%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.54
再任用	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.84
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,355	16,107	15,051		
	会計年度任用職員	1,131	599	1,798		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	15,486	16,706	16,849		
	物件費計	276,682	254,997	254,012	295,581	85.9%
	歳出計	292,168	271,703	270,861		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	116,035	117,832	116,547	144,080	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	12,240	12,432	9,834	10,542	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	128,275	130,264	126,381	154,622	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	148,407	124,733	127,631	140,959	

5. 総括的分析

総括的分析	受診控えなど新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなったが、ひとり親世帯自体の世帯数が減少していることが対象者数等の減少に影響しているとみられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現行制度を維持し、今後も本市独自の多子世帯医療費助成を含め、ひとり親家庭に対する医療費負担の軽減を図る。

事務事業名称	老人医療一部負担金相当額等一部助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		10.障害者が自立し、社会参加ができるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1983(S58)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市老人の医療費の助成に関する条例、枚方市老人の医療費の助成に関する条例施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	65歳以上で、感染症法(結核)・障害者自立支援医療(精神通院)・指定難病(旧特定疾病)の各制度を利用する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	医療機関を受診する必要があるにもかかわらず、経済的な負担を考え受診の機会を失い、重症化を招く可能性がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し必要な治療を受けることができる。				
事業概要	対象者に医療証を交付する。医療証を医療機関等に提示することで、窓口負担が軽減される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	経済的負担による不安なく、必要な時に医療機関を受診し必要な治療を受けることができる。	医療証を交付する。(老人医療)	医療証交付申請を受理する。(老人医療)
指標説明	1人あたりの受診件数(年平均)	対象者数	交付申請受理件数
	単位 件	単位 人	単位 件
指標種類	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
指標数値	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	38 0 0 0	1,400 0 0 0
達成度	37 34 0	1,370 151 0	0 0 0

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,969	5,107	1,562		
	会計年度任用職員	813	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,782	5,107	1,562		
	物件費計	116,587	13,503	158	1,482	10.7%
	歳出計	127,369	18,610	1,720		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	47,713	9,697	3	611	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	23,131	7,490	108	20	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	70,844	17,187	111	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	45,743	0	47	851	

5. 総括的分析

総括的分析	平成29年度に制度終了し、令和2年度で経過措置も終了したため、過年度分の請求に対応する助成事務のみである。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、過年度分の請求について、適正に助成事務を行う。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 299

事務事業名称	未熟児養育医療給付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	14.安心して妊娠・出産できる環境が整うまち									
	実行計画名	14-1.母子の健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	母子保健法、母子保健法施行令、枚方市養育医療に関する規則、枚方市養育医療に関する要綱				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	種々の未熟性により家庭保育が困難で入院治療を必要とする未熟児			
	サブターゲット	種々の未熟性により家庭保育が困難で入院治療を必要とする未熟児の父母			
	ターゲットが抱える課題	種々の未熟性により生活力が特に薄弱であり、入院治療を受けなければ成長が困難となる。			
	ターゲットが抱える課題	出産直後から種々の治療が必要となり、医療費の負担が大きくなる。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	未熟児は養育に必要な医療を受け、未熟性をなくし健康に成長する。また、その医療費負担について不安なく受診することができる。				
事業概要	対象者に申請により「養育医療券」を発行する。養育医療券を指定医療機関に提示することで、未熟児に対する診療費の負担が軽減される。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			養育医療券を提示して受診する。				養育医療券を交付する。			
指標設定	指標説明		1件あたりの助成金額(年間)				養育医療券交付人数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		201,200	201,200	201,200	201,200	103	103	103	103
	実績		113,507	110,867	132,874		56	66	58	
達成度		66%				144%				

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	2,750	2,040		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	2,750	2,040		
	物件費計	26,504	26,894	23,684	41,320	57.3%
	歳出計	28,897	29,644	25,724		
歳入	国庫支出金	17,262	10,720	9,747	16,245	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	2,958	3,100	4,052	8,122	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,697	3,100	2,917	4,240	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	22,917	16,920	16,716	28,607	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	3,587	9,974	6,968	12,713	

5. 総括的分析

総括的分析	出生件数が減少していることにより、未熟児の件数も減少したと考えられる。
-------	-------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現行制度を維持し、未熟児に対する医療費負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 308

事務事業名称	小児慢性特定疾病医療費給付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	児童福祉法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	小児慢性特定疾病にかかっている児童等の保護者			
	サブターゲット	小児慢性特定疾病にかかっている児童等			
	ターゲットが抱える課題	小児慢性特定疾病にかかっていることにより、療養のため多額の費用を要する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	療養費の負担が軽減され、必要な医療を受けることができる。				
事業概要	① 支払事務…医療機関への医療費を支払う。 ② 償還払い ③ 国庫補助金の交付申請・事業実績報告等				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						医療費の助成を行う。				対象者が医療機関を受診する。			
指標設定	指標説明					1件あたりの給付額				給付件数			
	指標種類					単位 円				単位 件			
	指標数値					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					21,700	21,700	21,700	21,700	7,600	7,600	7,600	7,600
	達成度					120%				106%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.15
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	2,750	1,536		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	2,750	1,536		
	物件費計	122,882	138,559	133,991	157,503	85.1%
	歳出計	125,275	141,309	135,527		
歳入	国庫支出金	72,882	71,545	73,687	73,901	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	72,882	71,545	73,687	73,901	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	50,000	67,014	60,304	83,602	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響は減少しているとみられ、想定どおりの件数となっている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現行制度を維持し、小児慢性特定疾病に罹患した子どもがいる家庭に対し、医療費負担の軽減を図る。

事務事業名称	心臓病児手術見舞金給付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1972(S47)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市心臓病児手術見舞金給付規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	心臓病に罹患した子の保護者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	心臓病は早期治療が望ましいが、手術費用が高額であり経済的負担が大きい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	児童が心臓病に罹患した場合、その医療費による経済的負担が軽減される。				
事業概要	18歳未満の児童が心臓病手術を受けた場合、1回限り25,000円の見舞金を給付。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	手術費用に係る経済的負担が軽減される。				アウトプット (活動結果)	見舞金を給付する。				インプット (活動)	見舞金の申請を受理する。			
	指標説明	年間給付額 【算出式:1件当たりの給付額×給付件数】				給付件数				申請件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	500	500	500	500	20	20	20	20	20	20	20	20		
	実績	100	200	150		4	8	6		4	8	6			
達成度	30%				170%				170%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	399	1,179	1,172		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	1,179	1,172		
	物件費計	100	200	150	500	30.0%
	歳出計	499	1,379	1,322		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	100	200	150	500	

5. 総括的分析

総括的分析	申請に基づき、適切に給付した。
-------	-----------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現行制度を維持し、心臓病児に対する医療費負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	多子世帯医療費助成事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名	15-4.健やかな育ちを支える仕組みづくり									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	<small> 枚方市子ども医療費の助成に関する条例施行規則、枚方市ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例施行規則 </small>				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	子ども医療・ひとり親家庭医療の受給者が複数いる家庭の保護者			
	サブターゲット	子ども医療・ひとり親家庭医療の受給者が複数いる家庭の児童			
	ターゲットが抱える課題	一家庭に複数の児童がいる場合、一人が罹患すると他の児童も時期を前後して罹患することが多く、その家庭単位でみると医療費負担が必要となる時期が長期化したり、同時期に多額の負担が必要となる。			
	ターゲットが抱える課題	親子で同時期に罹患した場合、医療費の経済的負担を考え、子どもは受診させても親は受診を後回しするなどし、重症化・長期化を招く。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	同じ時期に一家庭の複数人が罹患した場合でも、医療費の負担が一人分程度に抑えられ、適切な時期に治療することができる。				
事業概要	世帯内の子ども医療およびひとり親家庭医療対象者の同月内の自己負担の合算が2,500円を超えるものを、医療費助成状況で集計を行い、自動で、登録口座への振り込みにより償還している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		多額の費用負担が軽減され、適切な時期の治療につながる。				対象者に医療費を償還する。(子ども医療)				医療費助成状況の集計により対象者を把握する。(子ども医療)			
指標設定	指標説明	1世帯あたりの世帯合算助成率 (月2,500円を超えたものを助成した割合) 【算定式: 世帯合算助成件数 ÷ (子ども医療多子世帯数 + ひとり親世帯数) × 100】				助成金額				助成対象件数			
		単位 %				単位 円				単位 件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	6	6	6	6	9,182,000	9,182,000	9,182,000	9,182,000	9,800	9,800	9,800	9,800
	実績	4	5	6	6,252,789	7,522,003	8,566,765		6,906	8,179	9,270		
達成度	100%				107%				105%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		多額の費用負担が軽減され、適切な時期の治療につながる。				対象者に医療費を償還する。(ひとり親家庭医療)				医療費助成状況の集計により対象者を把握する。(ひとり親家庭医療)			
指標設定②	指標説明	1世帯あたりの世帯合算助成率 (月2,500円を超えたものを助成した割合) 【算定式: 世帯合算助成件数 ÷ (子ども医療多子世帯数 + ひとり親世帯数) × 100】				助成金額				助成件数			
		単位 %				単位 円				単位 件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	6	6	6	6	1,943,000	1,943,000	1,943,000	1,943,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	実績	4	5	6	2,047,539	2,949,285	2,822,738		2,170	3,149	3,124		
達成度	100%				55%				44%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,190	1,964	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,190	1,964	2,344		
物件費計	8,300	10,472	11,390	12,227	93.2%	
歳出計	11,490	12,436	13,734			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	8,300	10,472	11,390	12,227		

5. 総括的分析

総括的分析	昨年度から引き続き、支給用口座未登録の解消を進めていることにより、助成金額等は増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	子ども医療費助成の対象拡大により、対象件数がかなり増加することが見込まれるが、本市独自の制度として、現行制度を維持し、多子世帯に対する医療費負担の軽減を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 867

事務事業名称	医療助成課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	市民生活部			課	医療助成課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に行う。				
事業概要	課の運営事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.15
再任用	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	23,925	21,842	22,334		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,925	21,842	22,334		
	物件費計	26,461	31,277	29,278	30,965	94.6%
	歳出計	50,386	51,546	51,612		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	26,461	31,277	29,278	30,965	

5. 総括的分析

総括的分析	各種業務が円滑に行えるよう、予算要求、消耗品等の購入、システム保守、その他庶務などの各種事務を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、効率化を図りながら各種事務を適正に行っていく。